

<平成22年（2010年）基準>

調査結果の概要

1 概況

平成27年の農産物価格指数（平成22年を100とする。以下同じ。）の総合価格指数（以下「総合」という。）は107.6となり、前年に比べて5.3%上昇した。

また、農業生産資材価格指数（平成22年を100とする。以下同じ。）の総合は110.6となり、前年に比べて0.2%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）/農業生産資材価格指数（総合）×100）は97.3となり、前年に比べて5.1%上昇した。

図1 農業物価指数の推移(平成22年 = 100)

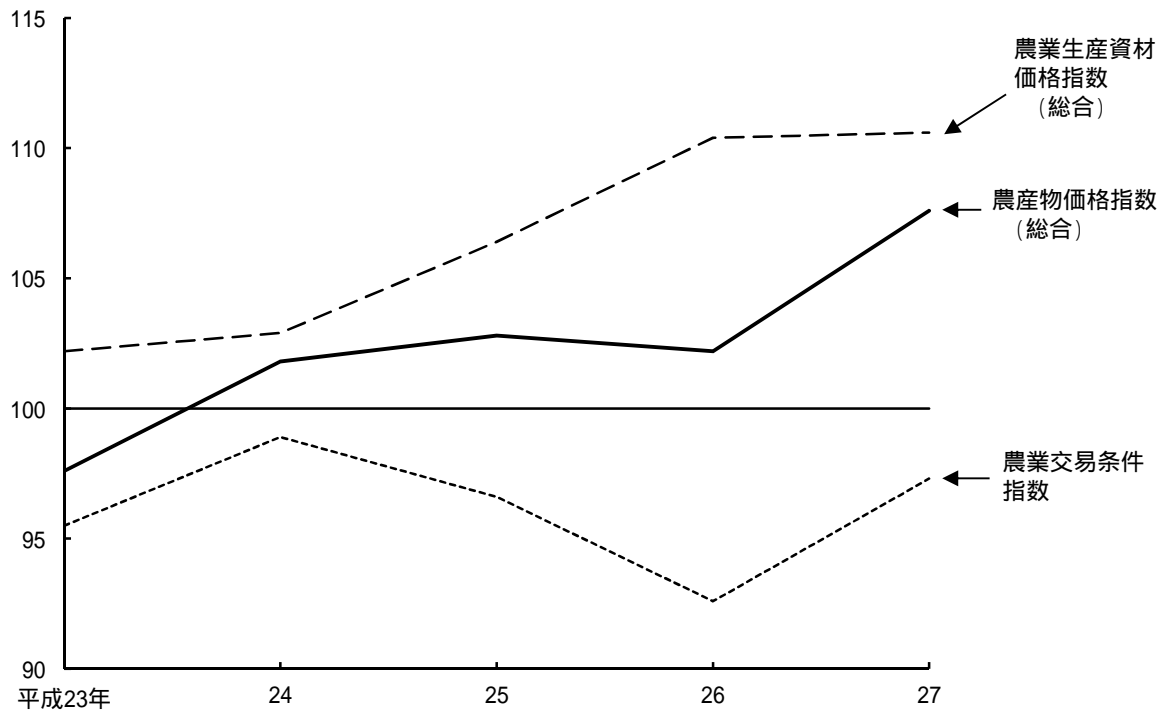


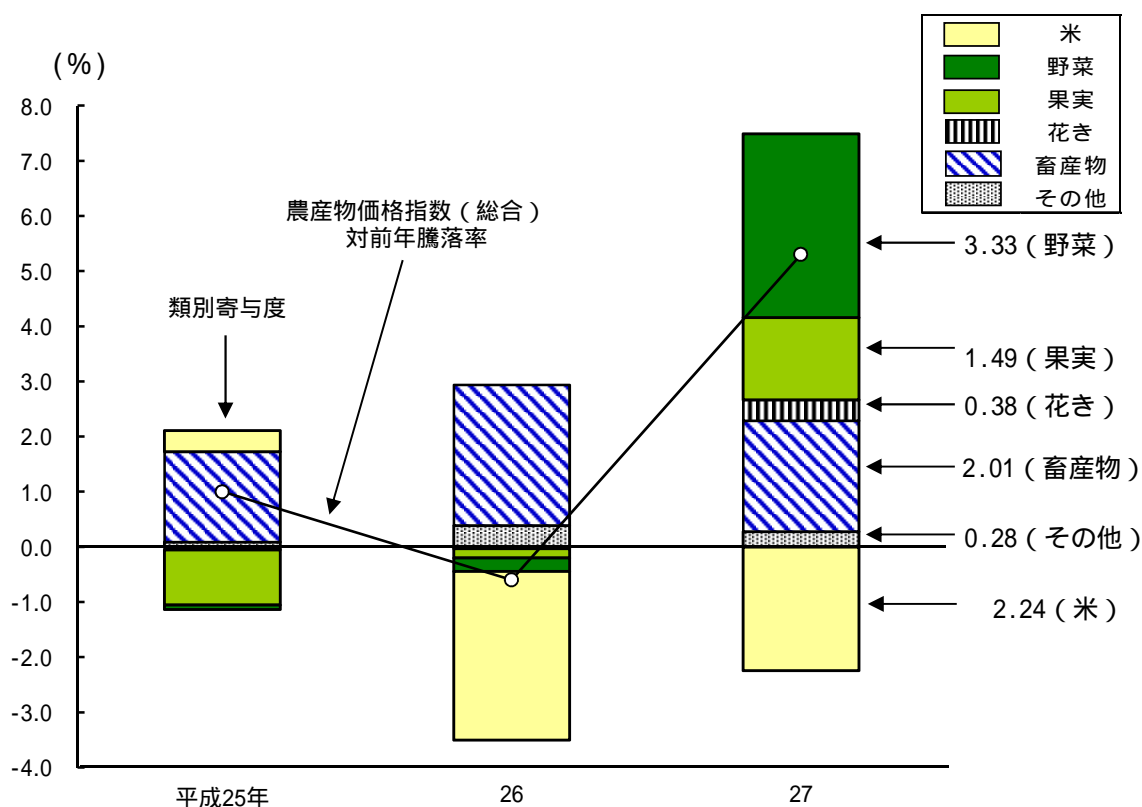
表1 農業物価指数の推移

区 分	平成23年	24	25	26	27	平成22年=100
						対前年 騰落率 (27/26)
農産物価格指数（総合） ①	97.6	101.8	102.8	102.2	107.6	% 5.3
農業生産資材価格指数（総合） ②	102.2	102.9	106.4	110.4	110.6	0.2
農業交易条件指数 ①/②×100	95.5	98.9	96.6	92.6	97.3	5.1

2 農産物価格指数

平成27年の農産物価格指数（総合）は107.6となり、前年に比べて5.3%上昇した。これは、米等の価格が低下したものの、野菜等の価格が上昇したことによる。

図2 農産物価格指数（総合）の対前年騰落率及び類別寄与度



注：1 類別寄与度とは、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。
 2 類別寄与度の「その他」には「麦」、「いも」、「工芸農作物」等が含まれる。

- (1) 米
米は88.6で、前年に比べて10.3%低下した。これは、うるち玄米の価格が低下したこと等による。
- (2) 野菜
野菜は110.4で、前年に比べて12.9%上昇した。これは、トマト等の果菜類やねぎ等の葉茎菜類の価格が上昇したこと等による。
- (3) 果実
果実は105.4で、前年に比べて13.0%上昇した。これは、みかんの価格が上昇したこと等による。
- (4) 畜産物
畜産物は126.8で、前年に比べて7.1%上昇した。これは、子畜及び肉畜の価格が上昇したこと等による。

表2 農産物類別価格指数

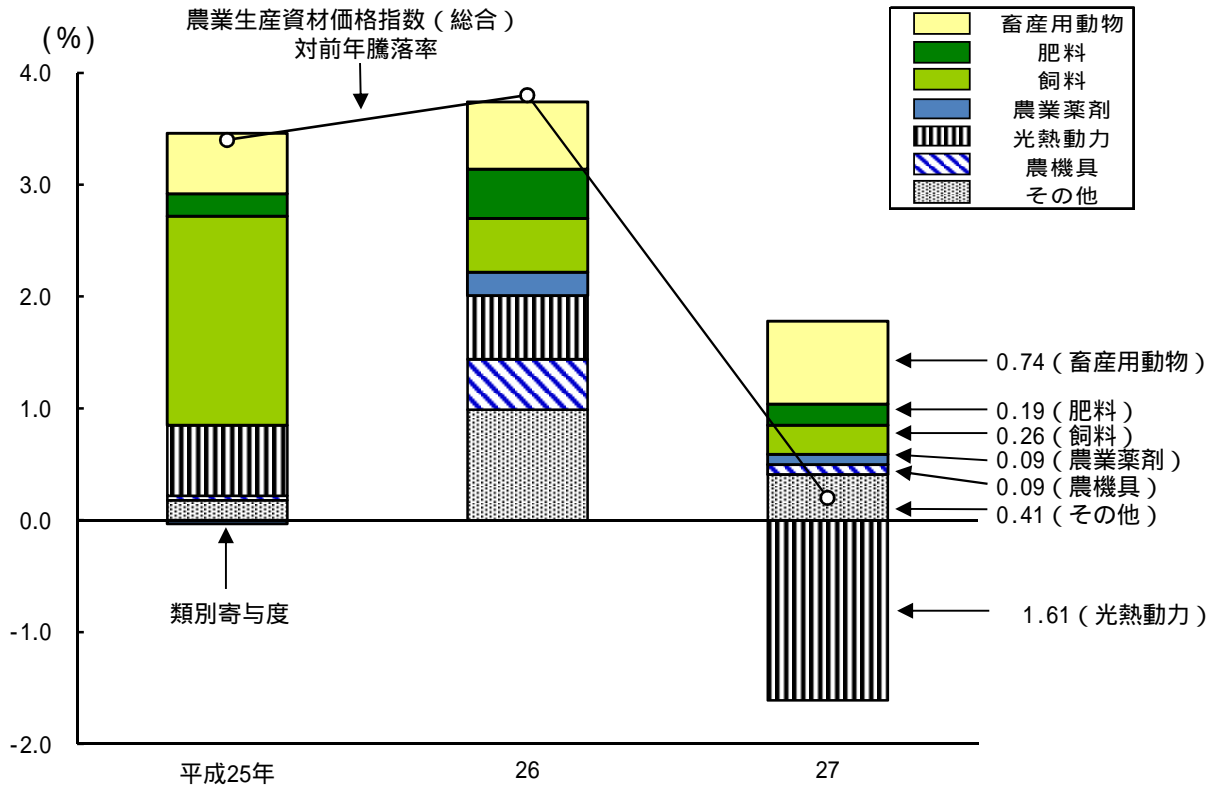
		平成22年=100					
類 別	ウエイト	価格指数		対前年騰落率		寄与度	
		平成26年	27	平成26年	27	平成26年	27
				%	%	%	%
農産物（総合）	10,000	102.2	107.6	0.4	5.3	0.39	5.28
米	2,247	98.8	88.6	11.1	10.3	2.71	2.24
麦	90	65.9	68.1	9.8	3.3	0.06	0.02
雑穀	11	69.4	91.0	27.6	31.1	0.02	0.02
豆	90	117.9	120.4	28.7	2.1	0.23	0.02
いも	259	83.7	105.8	4.4	26.4	0.09	0.56
野菜	2,700	97.8	110.4	1.2	12.9	0.32	3.33
果菜	1,169	101.2	114.1	3.3	12.7	0.40	1.48
葉茎菜	1,099	92.4	106.5	0.1	15.3	0.01	1.52
根菜	316	102.2	108.5	2.2	6.2	0.07	0.19
まめ科野菜	116	101.5	116.4	1.3	14.7	0.01	0.17
果実	1,256	93.3	105.4	9.2	13.0	1.17	1.49
工芸農作物	392	107.0	98.2	5.3	8.2	0.21	0.34
花き	501	95.2	103.0	1.7	8.2	0.08	0.38
畜産物	2,449	118.4	126.8	17.3	7.1	4.21	2.01
鶏卵	118	119.0	124.1	24.3	4.3	0.27	0.06
生乳	1,115	108.8	113.3	6.1	4.1	0.69	0.49
肉畜	847	121.4	128.1	24.1	5.5	1.96	0.56
子畜	325	140.5	166.3	32.0	18.4	1.09	0.82
成畜	44	136.0	158.9	43.8	16.8	0.18	0.10
稲わら	5	113.9	120.0	9.2	5.4	0.00	0.00

注： 寄与度は、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。

3 農業生産資材価格指数

平成27年の農業生産資材価格指数（総合）は110.6となり、前年に比べて0.2%上昇した。これは、光熱動力の価格が低下したものの、畜産用動物等の価格が上昇したことによる。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別寄与度



注：1 類別寄与度とは、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。
 2 類別寄与度の「その他」には「種苗及び苗木」、「賃借料及び料金」、「建築資材」等が含まれる。

- (1) 畜産用動物
 畜産用動物は148.2で、前年に比べて14.3%上昇した。これは、肉用子牛の価格が上昇したこと等による。
- (2) 飼料
 飼料は124.5で、前年に比べて1.4%上昇した。これは、配合飼料の価格が上昇したこと等による。
- (3) 光熱動力
 光熱動力は107.4で、前年に比べて15.1%低下した。これは、重油の価格が低下したこと等による。

表3 農業生産資材類別価格指数

類 別	ウエイト	平成22年=100					
		価格指数		対前年騰落率		寄与度	
		平成26年	27	平成26年	27	平成26年	27
				%	%	%	%
農業生産資材（総合）	10,000	110.4	110.6	7.3	0.2	7.29	0.18
種苗及び苗木	525	106.6	109.4	6.2	2.6	0.32	0.13
畜産用動物	440	129.7	148.2	26.3	14.3	1.15	0.74
肥料	1,070	108.0	110.0	6.2	1.9	0.66	0.19
飼料	1,701	122.8	124.5	13.2	1.4	2.36	0.26
農業薬剤	887	101.4	102.5	2.1	1.1	0.18	0.09
諸材料	378	103.9	104.7	2.7	0.8	0.10	0.03
光熱動力	928	126.5	107.4	11.9	15.1	1.22	1.61
農機具	2,072	101.6	102.1	2.5	0.5	0.50	0.09
自動車・同関係料金	578	103.8	104.9	3.2	1.1	0.18	0.06
建築資材	392	111.2	112.5	8.2	1.2	0.32	0.05
農用被服	32	107.1	111.2	4.6	3.8	0.01	0.01
賃借料及び料金	997	102.7	104.1	3.0	1.4	0.29	0.13

注： 寄与度は、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対して、各類別指数の変化がどの程度影響しているかを示す指標である。